

4. 実施内容

4.1 缶サット/パラシュートの製作実習

使用機材	缶サット(空き缶サイズの模擬人工衛星)
サイズ	缶サット本体：350ml 缶サイズ パラシュート：直径 50cm 程度
重さ	数百グラム程度
機能	加速度、気温、気圧などの計測が可能
製作内容 (イメージ)	 <ol style="list-style-type: none"> 1. 様々なセンサーを基盤にハンダ付けする 2. パラシュートを製作し、缶サット本体に取り付ける
外観 (イメージ)	 <p>缶サットをマルチコプターにて上空まで運び、上空100mより落下させ、様々な飛翔データを測定する。(ロケットは使用しません。)</p> <p style="text-align: right;">手に持った缶サット</p>

4.2 マルチコプターによる缶サット落下実験

		マルチコプター
名 称		DJIF550 (SEKIDO製)
目 的		缶サットの飛行特性に関するデータを取得する
全 長		約550mmプロペラを除く
重 量		約1180gバッテリー、カメラ、缶サットを除く
缶サット放出方法		マルチコプターにて缶サットを上空まで運ぶ。上空にてマルチコプターと缶サットを切り離し、缶サットを落下させる。
缶サット回収方法		パラシュートにより落下
予想到達高度		地表より約150m
缶サット落下予定範囲		半径約70mの円内
外 観		